



ペンギんぐみだより

3月

最近の子どもたちの様子

2022年3月1日 保土ヶ谷保育園

ペンギん組担任

一年を振り返って

昨年4月、前担任がいなくて心細い思いをしたことでしょうか。朝の分離時、泣いていましたね。オムツを履いている子や、シャツが脱げない子もいっぱいいたし、全員が揃って一つのことを楽しむなんて難しかったです。だんだん何でも自分でやりたくて、いつの間にかできることが増えました。お手伝いも大好きです。好きなことに取り組む集中力は大きくなりました。朝夕の幼児合同保育では、年上の子のやる鉄棒や長縄跳び・三輪車・トランプ・かるたなどをよく見ているようで、まねて遊んでいるうちにできるようになり、それが自信につながったと思います。「やりたい」「やりたくない」「甘えたい」という子どもの気持ちに、できる限りこちらが合わせ、試行錯誤した一年でした。個人差はありますが一人一人、グーンと成長しましたね♡



きりん組さんとのお別れ会

3月9日(水)、午前中は幼児組が縦割りグループに分かれて行きます。それぞれ違う公園に行き、いろんなゲームを楽しみ、お昼は部屋で給食の先生が作ってくれるお弁当。午後はホールでお別れ会。プレゼントを贈呈し、歌や言葉でありがとうを伝え、楽しさや寂しさなど様々な気持ちがこもった雰囲気を経験し、心に残るような一日を過ごします。

当日は、9時30分までに登園してください。
(雨天でも内容を変更して決行します。)



今月の活動予定

- 散歩…春を見つけながら乳児組さんと手をつなぎ、お兄さんお姉さんとして優しくリードできるといいな♡
- 室内遊び…宝探しゲーム・フルーツバスケットなど
- 製作…廃材を使って食べ物作り
- 一年間使った部屋をきれいに掃除して、うさぎ組さんにバトンタッチ!



お願い

- 部屋の黄色い個人引き出し(着替え入れ)を確認していただき、小さくなった服・厚手の服の交換や、使わないオムツは除いてください。外遊び用の上着も真冬用から少し薄手の物が良いかと思えます。
- ぱんだ組になり落ち着いたころから、歯磨きを行っていく予定です。歯ブラシ(キャップ無し)を巾着袋に入れて持ってきていただきますのでご用意ください。開始時期は改めてお知らせします。

ぺんぎん組懇談会資料

今年度もいよいよわずかととなりました。この一年で大きく成長した子どもたちの姿が嬉しく、頼もしさを感じているこの頃です。これからも子どもたちの心に芽生えた小さな芽をぐんぐん伸ばしていけるよう丁寧に関わり、残り 1 か月を楽しく過ごしていきたいと思えます。保護者の皆様の理解とご協力、心から感謝しております。ありがとうございました。

◎現在の子どもたちの様子

○生活面・健康

- 手洗いや食後のブクブクうがいの習慣は身に付いてきました。
- 2月の身体測定の際は自分で脱ぎ、テーブルの上に置き、着る際はひっくり返った服を戻して着ていました。後ろ前が分かりにくいと間違えて来ている。ひっくり返らないように脱ごうとする意識が持てるように声を掛けています。
- 給食の時はフォークかお箸を自分で選んで食べています。上手にお箸を持てる子もいますが、使ってみたいと試みるけれどやっぱりフォークに戻すこともあります。興味を持った時に褒めたり励ましたりして上手になってくれるよう心掛けています。
- トイレは自分の行きたいタイミングで言っています。排便後自分で拭けない子や、拭いても拭ききれない子が多いので、最後は保育者が確認しています。

○食事

- 「〇〇君一緒に食べよう」と声を掛けて並んで食べていたり、「先生、〇〇ちゃんと二人で小さい机で食べたいの」と希望がかなって嬉しそうに食べたりしています。時には一人の子を取り合う姿や、保育者に寄り添ってもらいたいと甘える姿見られ、みんなが満足して楽しく食べられるように、子どもと話し合いつつ過ごしています。
- 野菜が嫌で省いて欲しいという場合、保育者が省きながらも「取り切れないよお」と嘆くと、「じゃあ、ピーマンだけ取って。あとは食べるよ」など少しずつトライしてくれる姿が見られるようになりました。また、食育の一環で野菜の皮むきをしたことで「食べてみようかな」という気持ちになるようです。

○人間関係

- 友だちが使っている玩具で遊びたい時、〇分になったら貸してもらえる約束をして待つことが出来たり、並んで順番を待ったりできている時が多くなってきました。
- 集団遊びが楽しいようですが、保育者が入らないと遊びがスムーズに進まず長く続かないことがあります。年上のお姉さんが一緒に入ってくると楽しめるので、最近、異年齢児と遊んでいる姿が見られます。
- 「入れて」「だめ」というやりとりは毎日みられます。泣いてしまう子、泣きながらも怒って訴える子、しっかり言葉で伝えている子、悲しいけれど我慢してしまう子など様々です。自分の意思を主張出来ないとストレスを抱え込むこととなります。嫌なこと、困ったことが起きた時、気持ちを伝えてくれるまでそっと待ちます。また伝え方を具体的に知らせたり、「〇〇したらどう？」といった案を出したりします。心や知能が育ってきているからこそ、気が合う・合わない、遊びが盛り上がっているから今は入ってほしくない、いつも「だめ」と言われているから嫌だ、言い方が気にいらぬなど、「だめ」と言った子にも自分なりの気持ちが生じてきます。また成長にも個人差があり、話すことが上手になってきたものの十分でないため、気を使った話し方が出来ず「だめ」の一言だけになってしまい、断られた子が傷ついてしまうこともあります。この時期、こういった経験を体験し、どうして断られたのか相手の気持ちを知り、乗り越える手段を体得する大切な時です。担任はお互いの気持ちが表現できるよう声をかけ、笑顔をかけます。でも納得できない時もあります。もし家に帰って保育園で嫌だったことを声に出す・涙を流すことがあった時、やさしく抱きしめてあげてください。楽しい事は他にもいっぱいあること、家族は最強の見方なんだということを実感させてください。気になることがありましたら担任に教えてください。

◎ぱんだ組に向けて

3月22日(火)か移行保育になります。隣のぱんだ組の部屋での生活の始まりです。場所が変わって、最初は落ち着かないと思いますが、進級する期待と不安に寄り添っていきたいと思えます。